

取扱補足説明書

このたびは、コントローラー (DC-330) 用、床下浸水センサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

1.安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

- 修理・分解・改造をしないでください。
- 水(純水は除く)以外の用途には使用しないでください。

注意

- 電極に油など付着しないようにしてください。
- センサーケーブルを換気扇以外の強電回路ケーブルと並走させたり交差させたりしないでください。

- 次の場所には設置しないでください。
 - 水滴が当たる場所
 - 振動や衝撃が激しい場所
 - 金属片や粉塵が多い場所
 - 高温多湿になる場所
 - 温度変化が激しい場所
 - 電気ノイズが強い場所
 - 亜硫酸ガスやアンモニアなど腐食性ガスのある場所

2.製品概要

床下の水漏れしそうな所に設置し、コントローラーに接続することで5秒以上連続での床下浸水時(4つの電極が水没時)に、コントローラーに異常警報し、出力を停止します。

3.浸水検知の設定

●除湿機本体のセンサー入力端子に水没センサー接続ハーネス(オプション)で床下浸水センサーを接続すると自動で判別しコントローラー液晶に \blacktriangledown マークが点灯します。

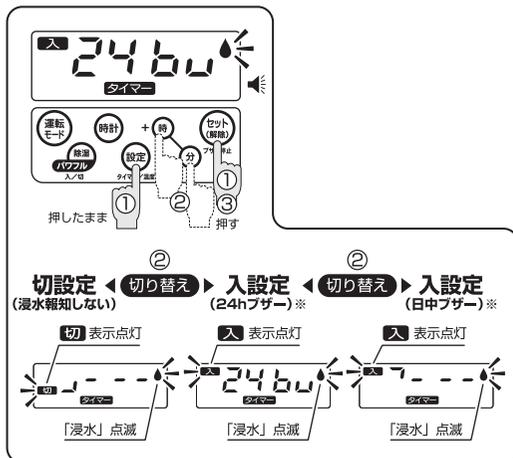
※接続を検知すると浸水検知の設定が表示され、設定が可能になります。(AC100V電源投入時のみ)

【浸水検知及びブザー発報の設定】

(初期値: 24hブザー)

- ①: **設定** ボタンを押したまま **セット(解除)** ボタンを8回押して右図の表示にします。
- ②: 日中のみブザー **入** にする場合 **+時** を押します。
浸水検知を **切** にする場合 **-分** を押します。
▶ 床下浸水センサーを作動させる場合は **入** の設定にします。
▶ 床下浸水センサーを作動させない場合は **切** の設定にします。
- ③: **セット(解除)** ボタンを押して設定を完了します。

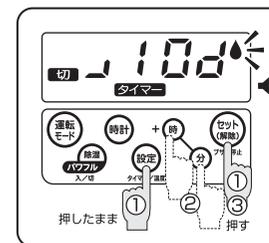
※「24hブザー」は浸水検知時いつでもブザーが鳴ります。
「日中ブザー」は9:00~21:00の間ブザーが鳴ります。
※ブザーは検知時と時刻00分時に5分間発音します。(3日間)



【浸水検知開始日時の設定】 (初期値: 直ちに検知する)

- 床下へ薬剤散布時に薬剤で誤動作しないように10日間浸水検知のみ一時中断しその後、自動で浸水検知を開始します。
※薬剤散布時は浸水センサーに薬剤がつかからない様にカバー等を被せてください。

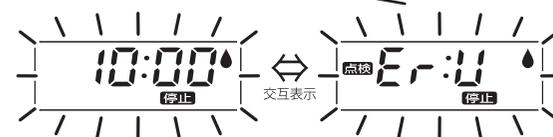
- ①: **設定** ボタンを押したまま **セット(解除)** ボタンを9回押して右図の表示にします。
- ②: 10日後に浸水検知を開始する場合 **+時** を押します。
直ちに浸水検知を開始する場合 **-分** を押します。
- ③: **セット(解除)** ボタンを押して設定を完了します。



※10日後に浸水検知開始設定をした場合、 \blacktriangledown マークは10日間2回点滅表示します。
※10日後に浸水検知開始設定をした場合、10日後のタイマー入時刻より浸水の検知を開始します。

4.浸水検出動作

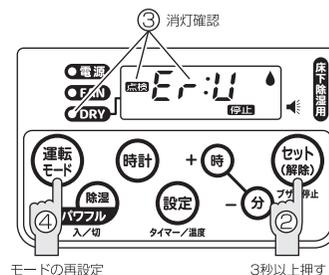
【異常検出時】コントローラー (DC-330) のブザーが鳴り、**DRY**ランプが点滅し液晶表示 **点検 + Er:U** と時刻が交互表示します。また、モードが **停止** になり、出力(換気扇)を停止します。



【異常警報の解除手順】

- ①: 解除する前に水漏れなどが解消されているかご確認ください。
- ②: **セット(解除)** ボタンを3秒以上長押ししてください。
- ③: ブザーと**DRY**ランプ点滅と液晶表示 **点検 + Er:U** が消灯します。
- ④: 異常警報前のモードに再設定します。(通常はタイマー運転)
※ブザー音のみ解除する場合はセットボタンを押してください。

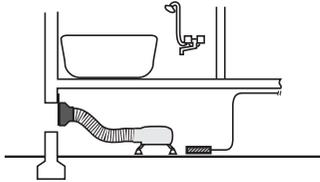
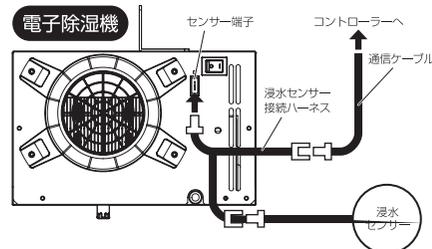
注意
水漏れなど異常が残っている状態で解除しても、再度異常表示をします。水漏れなど異常が残っている状態で解除した場合、配電盤の漏電ブレーカーが作動する場合があります。



5. 設置方法

確認：コントローラーの電源配線の接地側が、コントローラーの反スイッチ側（S2側）になっていることを確認してください。

- 除湿機のセンサー端子へ浸水センサー接続ハーネスを接続し、床下浸水センサーのコネクターをカチッと音がするまでしっかり差し込みます。
- 床下浸水センサーを水漏れしそうな所(台所・風呂場付近の床下)や換気扇付近に電極を下にして設置します。



注意

床下浸水センサーが水漏れを検出したあと、水分が蒸発すれば復帰しますが、水の中に導電性・撥水性の汚染物質などが溶解している場合は正常に復帰しない場合があります。

下記の内容に注意して設置してください。検出感度や正常な動作に影響を与えます。



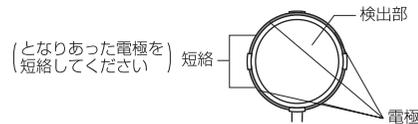
- 動作確認をする場合は次のような方法があります。

1：電極を短絡させる（右図を参照してください）

2：床下浸水センサーの4つの電極を水没させる。

（確認後は検出部及び周辺の水分がないことを確認してください。）

※5秒以上短絡または浸水させてください。



6. 仕様

使用周囲温度	-10℃～50℃（氷結なきこと）	ケーブルの長さ	約10m
使用周囲湿度	95%Rh（結露なきこと）	質量	約350g
検出感度レベル	42kΩ以下		

7. 故障かなと思ったら

現象	原因	処置
水漏れていないのに異常警報する	導電性のゴミや金属片が付着している	センサーに付着しているものを取り除いてください
	結露している	設置場所を変更してください
	電極が地面に接触している	正しく設置してください（設置方法を参照してください）
水漏れているのに異常警報しない	油などが付着している	センサーに付着しているものを取り除いてください
	断線している又は、マーク表示なし	床下浸水センサーを交換してください

memo